

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	島津明人 (しまず あきひと)	所属	東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会産業保健心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 12名 (うち認定心理士 1名) 非会員 15名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究会では、臨床心理学、産業・組織心理学、社会心理学、精神医学、公衆衛生学などの多領域にわたる国内外の研究者や実践家らとともに、労働者の安寧(健康、幸福、安全)に関する研究と実践について、総合的に検討することを目的として設立された。</p> <p>本年度は、第1回研究会を2012年3月5日(月)に東京大学医学部内にて開催した。研究会では、心理学をはじめ、公衆衛生学、看護学など多様な背景を持つ研究者や実践家が参加した。講師として高橋潔・神戸大学大学院経営学研究科教授を迎え、「組織と職場の幸福論」をテーマに講演が行われた。</p> <p>講演では、幸福感の定義、組織と職場の幸福論の測定・評価、経済的幸福と心理的幸福の考え方について話題提供が行われ、続いて参加者との討論が行われた。討論では、幸福に関する国際比較、幸福の先行要因・結果要因、幸福の評価に関する個人差、幸福への支援など様々な観点からの質問、討議が行われた。一連の講演と討論は、当研究会の今後の活動方針や活動内容を検討するうえで、非常に参考になった。</p> <p>来年度も、再び研究会制度に継続申請する予定であるが、現在のところ、次の事業を研究会として主催ないし共催することを計画している。</p> <p>(1) マイケル・ライター教授 特別講演：2012年5月19日(土) 東京大学にて (2) アジア太平洋心理社会的要因に関する専門家ワークショップ： 2012年8月2, 3日 (3) 日本心理学会ワークショップ(申請予定) (4) 産業保健心理学(Occupational Health Psychology)の教科書の編集、海外の教科書の翻訳 (5) その他</p>		